



監督＝犬童一心／原作＝太田蘭三／主題歌＝「精霊～nomad version～」元ちとせ／出演＝山崎努／青島幸男／谷啓／宇津井健／長門勇／藤岡琢也／松原智恵子／星野真里／森繁久彌（東映配給／2004年日本映画／120分）

4人の70歳超老人軍団を中心とした、悪ガキ顔負けのカッコいい(?)銀行強盗! その額は17億円。しかしゼニが目的じゃない! この年甲斐もない(?)行動の動機はただ1つ。それは生き甲斐の探求だ。高齢化社会のニッポン。年金問題を真面目に考えることも必要だが、この主人公のように少しはじめてみては……?

🎬 今、日本国をゆるがす年金問題

2004年5月10日の今日、民主党代表の菅直人氏が代表の地位を辞任した。これは、年金改革法案をめぐる、民主党内の合意を十分とりつけないまま、自・公との「三党合意」を執行部の独断でやってしまった、というのが最大の理由。しかしその背景には、自らの年金未加入・年金保険料未納問題がある。社会保険庁のポスターやテレビコマーシャルで、「将来、泣いてもいいわけ?」とすごみながら(?)国民年金の保険料の納入を呼びかけていた、女優の江角マキコの国民年金未加入・年金保険料未納問題は、その後思わぬ大展開となった。すなわち、国民年金法案の国会審議の中で、突如、表面化した年金保険料未納問題は、今年の流行語大賞候補となることまちがいない(?)「未納3兄弟」をはじめ、小泉内閣の6閣僚にまで波及した。そして、遂に5月7日には福田康夫官房長官の辞任という事態にまで発展。今後の進展如何によっては、重大な「政局」となり、小泉内閣の命取りにもなりかねない「火種」となっている。少子高齢化社会を迎

えた現在のわが国において、公平で合理的な年金制度の構築は、何が何でもやりとげなければならない、すべての国民の重大事なのだが……？

リッチな老人たちの悩みは……？

しかし、この映画に登場する70歳超の老人たちには、どうもこんな年金問題は無縁のようだ。東京郊外にある、ここ老人ホーム「らくらく長寿園」は、プールやフィットネス施設、パーティールーム、各種のサークル設備を備えた、一流ホテル並みの超豪華な老人ホーム。その入居費はザッと1億円……？

彼らは、今多くの日本国民が苦吟(?)している年金問題に一喜一憂することなく、優雅なセカンドライフをそれぞれに楽しんでいた。しかし、その彼らにも実は大きな悩みが……？ その悩みとは……？ それは退屈すること、つまり、やるべきことが見つからないこと。何ともぜいたくな悩みだが、考えてみればごもっとも……。そのため、入居者の老人たちは、それぞれの趣味や運動に精を出しているが、その熱心なことには、今日からこの「らくらく長寿園」に勤務することになった新人職員の井上和子(星野真里)もビックリ。そして毎日のトレーニングに汗を流す菊島真(山崎努)のカッコ良さ(?)に和子は興味津々……。

これはいい、新発想の「お別れ会」

最近、企業の役員が亡くなった場合、「お別れ会」方式をとることが多い。これは従来の葬儀の形式にとらわれず、故人と親しい人が集まって、それぞれに故人をしのび、お別れの言葉を述べるとともに、集まった人たち(?)同士のおしゃべりでひと時、故人をしのぶというやり方の合理性がうけているためだ。

この映画の中で源田金蔵(藤岡琢也)がやった「お別れ会」はすごくユニーク。これは、何事にも綿密な計画をたてることが趣味という、源田の性格が生み出したものだが、その演出ぶりにはほとほと感心させられる。故人が自らテレビ画面に登場してあいさつしたり(もちろんビデオ撮りによるもの)、源田が好きだった軽快なジャズ音楽に乗せて、「ダンスパーティー」を演出する「お別れ会」なら、参加者もさぞ楽しい(?)ことだろう。

私の個人的見解と弁護士としてのアドバイス

私は、自分自身のお葬式については基本的に「いらない」派なので、ホントに身内だけでひっそりと形だけやってくれれば良いと考えている。そのため、源田のように一生に一度のイベントとしての「お別れ会」のプロデュースには、あまり興味はないが、「お別れ会」志向派の方は、是非今からこれを参考に工夫してみれば……。生きている間に「お別れ会」の式次第を自分で決めるのだから、わがままなあなたにも納得がいくというもの……？

少子高齢化の今、①成年後見制度の活用と、②遺言書の作成は、弁護士として私が強く皆さんにおすすめしていることだが、この映画を観た後私は、それに加えて「お別れ会」の生前演出のススメをしようと考えた。いわば、この3つは、現代のリッチな老人がやっておくべき、新たな「三種の神器」とでもいうべきものだ……。

老人パワーを結集したものは……？

あんなに仲の良かった源田の「お別れ会」が終わった後、源田から菊島に残されたのは、「死に花」というタイトルの一冊のノート。そのノートに書かれていたものは……？ 何事にも計画を立てることの好きな源田が書き残したこのノートには、何と「サクランボ銀行」の地下金庫に眠る現金の強奪作戦だった！

この計画を聞いて急にイキイキし始めたのは、源田や菊島の仲間である、穴池好男（青島幸男）、庄司勝平（谷啓）、伊能幸太郎（宇津井健）の3人。そしてさらに、菊島の恋人（？）の明日香鈴子（松原智恵子）。70歳を過ぎても、なおこれから、一花も二花も咲かせたいと願っていた彼らは、急に人生の生き甲斐を見つけたかのように、その計画の実行に向けて、老人パワーを結集させていった……。

どこかで見た手口、と思ったら……

源田が計画した、サクランボ銀行からの現金強奪作戦は、隅田川の川べりから地下トンネルを掘って、地下金庫に至るというもの。掘るべきトンネルの距離は

20m。だから、4人で掘れば1人あたり5m。土を掘るのは、ウォータージェット等の文明の利器もあるものの、基本的にはツルハシとスコップによる人間の労働。さあ、70歳超の彼らにそれがどこまでできるのか……？

ここで思い出したのが、4月20日に試写室で観た、5月22日公開のトム・ハンクス主演の映画、『レディ・キラーズ』（04年）。これも、カジノの地下金庫に眠る現金を地下トンネルを掘って強奪するという筋書きで、トム・ハンクス扮する教授をリーダーとし、火薬やトンネル掘り等のプロたち4人が結集して行うというもの。この映画での、サクランボ銀行の地下金庫からの現金強奪作戦はこれと全く同じ手口によるものだが、ダイナマイトを使わないところが全く異なっている。そのため、老人たちは肉体労働の毎日となった……。

決行日直前にトラブルが……？

明日を決行日と定め、別れた仲間たちだが、どうも天候が怪しくなってきた。台風が進路を変えて東京を直撃するらしい……。水かさを増した隅田川からあのトンネルに水が流れ込んだら……。それを阻止するため、土嚢を積むと言って、1人残った菊島だったが……。どうも、様子がおかしい……。かけつけた仲間たちに土下座しておわびをする菊島。何と、菊島は自分が何をするためにそこに残ったのかが、わからなくなってしまったのだ。「老人性痴呆症」とは何ともコワくて切ないもの……？

それでも作戦は大成功！

サクランボ銀行の合併が発表されたため、1カ月という期間限定の中で必死に掘り進めてきた地下トンネルの中に隅田川の水が流れ込んでいくのを呆然と見守る菊島たち。

するとその時、自分たちの立っている地盤がグラグラと崩れ落ち、さらにはあのサクランボ銀行のビルが「ピサの斜塔」のように、グラリと傾いた……。これは……。その後は、まるでマンガみたいなもの……。徹夜の突貫作業で危険な作業をやり終えた菊島たちが現場を去った後、傾き崩壊したサクランボ銀行を見た東京都民たちは、その地下金庫から17億円という大金が奪われたというニュー

スでもちきり……？ しかも、現場には、「和子 LOVE」と落書きが残されていたため、「その犯人は青少年の作業とも推測される」という、間の抜けよう……？ まんまと作戦は大成功だ……。

俺たちの目的は、金ではない！

隅田川沿いのホームレス先山六兵衛（長門勇）や新米職員の井上和子まで巻き込んだ金庫破りは、このようにしてまんまと成功した。しかしもともとお金そのものが目的ではないリッチな老人たちばかりだから、通常のドラマで予想されるような、お金の分配でのトラブルがないのがいい。そればかりか、のんびりと、「さあ、このお金をどうしようか？」という相談。どうせ使い途がないし、どこかに寄付しようかという案もあったが、最終的に決まったのは明日香鈴子の提案。つまり、菊島の親友であった、鈴子の亡くなった夫がかつて話していた、武田信玄の埋蔵金探しのための軍資金にこのお金を使おうというもの。1つの花を咲かせたのだから、続いてまた2つ目の花を咲かそうという、老人たちのあくなきバイタリティだ。痴呆が進み、子供の心に戻った菊島は、川に小石を投げながら、「さあ、みんなで遊ぼうよ」と大乗り気だが……。さて、どうなることやら……？

老人ホームにおける恋愛事情……？

この映画の中での菊島と鈴子との恋愛は公然のものよう……？ 鈴子は先に亡くなった菊島の親友の奥さん。菊島は結構堅物だから、鈴子の方が積極的。なかなか言い寄ってこない菊島に対して、源田死亡の際、睡眠薬を飲んで、この源田の棺の中に入り込んで一緒に心中(?)したその妻の姿に感動した鈴子は、何と自分の方から「一緒に温泉にでも……」と菊島にモーションを……？

老人の「性」とくに、老人男性の「性(能力)」は、人によってさまざまだが、せっかくの「チャンス」にもかかわらず、菊島は……？ 鈴子は「無理しなくても、自然のまま」でとなくさめてくれたものの、そこは男たるもの……？ こんなほほえましい(?) 高齢者同士の恋愛もあるが、世の中にはもっと生々しい事件も発生している。

毎日新聞5月7日付夕刊は、愛知県安城市の養護老人ホームで、67歳の女性が、同じ入居仲間で、世話をしていた68歳の男性の首を絞めて殺害したとのニュースを報道した。その動機は、部屋替えを強要されると、その男性の部屋への出入りができなくなってしまうということ。つまり、2人の仲を裂かれるなら、死んだ方がいいと思って男性を殺したと供述しているとのことだ。老いるの恋は美しいものだし、今や老人ホームの中での自由な(?)恋愛模様は日常茶飯事のこと、ほほえましい限り。しかしそれも程度問題であり、この記事のようなことになったのでは元も子もないからくれぐれもご用心……？

 感心しても、真似てはダメよ……

映画の中で、楽しげに(?)描かれている菊島たちの行為は、言うまでもな

「死に花」の主人公らに学ぶ

女優、江角マキコ氏に端を発した年金保険料未納問題は、今や日本の「政局」にまで発展した。他方、日本国民にとって切実な年金改革関連法案をめぐる審議は不十分なまま。年金一元化への途はもとより、健全かつ合理的な年金制度の構築には程遠い。

もっとも今、公開中の映画『死に花』の主人公で、高級老人ホームに入居するリッチな高齢者たちには、この年金問題は無縁のようだ。映画は、70歳超の老人パワーの結集による、銀行の地下金庫からの17億円の現金強奪作戦を描くもの。という物騒だが、その狙いは高齢者たち(と本人たちは思っていないが)の生き甲斐探しをコミカルに描く感動作となっている。

近く公開されるトム・ハンクス主演の『レディ・キラーズ』も、カシノに眠る

地下金庫からの現金強奪作戦がテーマだが、目的さえ一致すれば人間は結集しパワーを発揮するもの。生き甲斐や目的の一致は、「求心力」の源だ。この作戦を伝授したのは、ユニークな「お別れ会」で先に逝った



ジャズ好きの老人。彼は生前に撮ったビデオで、参列者に対して生の姿を見せてお別れのあいさつをし、友人の生バンドで「レッツ・ダンス」と呼びかけた。

平成12年4月から施行された成年後見制度は、今徐々に定着している。とりわけ、事理弁識能力が不十分になった時点で、家庭裁

判所が任意後見監督人を選任するという、「移行型」の任意後見制度は使い勝手がよく、その活用が望まれるもの。また一般に煩わしいと考えられている遺言書の作成も少しずつ定着しているようだ。

そこで私は弁護士として、少子高齢化社会を迎え、『死に花』の主人公たちのようなパワフルで達者な高齢者が多い今、新たな高齢者用「三種の神器」の活用を提案したい。それは、ハードとして①遺言書の作成②任意後見制度を活用した「財産管理等委託契約書」の締結。そしてソフトとして③自らの演出による「お別れ会」のプロデュースだ。

ハラの立つことが多い世相の昨今、時間がタツプりある高齢者の皆様は、楽しみながらこの「三種の神器」の準備をしてみても……。(弁護士 坂和章平)

映画

く、「強盗罪」という重大犯罪に該当するもの。それは『レディ・キラーズ』でのトム・ハンクスたちも同じ。しかも、その手口は計画的であるうえ、数名が共謀して行なった犯罪。そのうえ、この映画ではサクランボ銀行のビルの倒壊という「建造物損壊罪」(?)まで犯している……? これでは、いくら老人の火遊び(?)だと弁明しても、重大な刑罰を避けることができないのは当然だから、良識ある日本の老人たちは、決してこの映画の老人たちのような行為を真似てはダメ。しかし、感心すべきはその好奇心とパワー。もちろん原作も映画も、狙いがそこにあることは誰にでもわかるはず。少し火遊びの程度は過ぎるけれども、学ぶべきはそれ。映画の意図を絶対に誤解することなく、この老人パワー全開の映画を楽しんでもらいたいものだ。

2004(平成16)年5月10日記

ミニコラム

参議院議員選挙、余話

『死に花』(04年)に登場するパワー満開の老人の1人、穴池好男に扮するのは青島幸男。彼は言うまでもなく、放送作家として人気を得た後、政界に転じ、長年参議院議員をつとめた後、世界都市博を中止するとの公約を掲げて、1995年東京都知事選に立候補して見事当選した人物。しかし都知事としての評判は芳しくなく、結局1期4年で退任した。そして再び役者生活に戻り、『死に花』では「千人切り」を目指すスケベ老人で、ちょっといい加減

なパーソナリティという格好の(失礼?)役柄を演じていた。ところが何とその青島幸男氏は、71歳で2004年6月の参議院議員選挙に再度東京選挙区から立候補。私は、80歳を過ぎてなお理路整然と語る中曽根康弘元総理を尊敬しており、政治の世界における老人パワーを頭から否定するものではないが、さすがにこれは……? と思ったが、案の定、見事落選! 一度手にした権力への未練は簡単に断ち切れないのだろうか……?